

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2015年7月2日

防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」を採用したモデル
「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」



外観イメージ

- 「MISAWA-LCP」の設計基準に基づく提案を満載したコンセプトモデル
- 平常時の快適な暮らしをベースに、災害時・災害後に家族を守るシェルターの機能を付加
- 建物の災害対策に加えて浸水被害を軽減する外構計画「MISAWA-防災エクステリア」も提案

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）が提案している防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP（MISAWA Life Continuity Performance）」を採用したコンセプトモデル「^{ジェニアス} GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」が、このたび完成しました。

東日本大震災以降、住まいの安全・安心に対する意識は高まっており、建物の揺れを軽減する制震装置、自然エネルギーを効率的に利用する太陽光発電システムや HEMS といった設備が急速に普及してきました。

ミサワホームは創業以来、地震による建物の倒壊ゼロ^{*1}という実績に裏付けされた躯体性能の高さをベースに、備蓄庫にも利用できる大収納空間「蔵」や制震装置「^{エムジオ} MGEO」、浸水被害を抑える「ワンタッチ防水シート」、地震による建物及び地盤の被災度を計測・表示する被災度判定計「^{ガイネット} GAINET」といった防災・減災の提案を進めてきました。今年4月には、災害などによる業務リスクを最小化するBCP（事業継続計画）の考え方や、内閣府の中央防災会議で報告された「首都直下地震の想定被害と対策について」を参考に、独自の防災・減災ソリューションとして「MISAWA-LCP」を策定。平常時の「備え」、災害時の「守り」、災害後の「支え」のそれぞれの段階で防災・減災に貢献する技術や住まい方を提案しています。

「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」には、「MISAWA-LCP」で提案する技術や住まい方を多数盛り込んでいます。

1st SAFETY SOLUTIONS <備え>

普段の暮らしの中で“もしも”にしっかり備える住まいを目指しています。「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」では、災害発生後でも家族が自宅にとどまり生活ができるよう、非常食や防災品などを管理しやすいストック用の収納による「備蓄・非常用備品」、災害発生時に安全を確保しながら素早く屋外に出られる「避難」、建てる前にリスクを把握するための「情報提供」など、各段階から“もしも”の備えを用意しています。

2nd SAFETY SOLUTIONS <守り>

ミサワホームでは様々な自然災害から家族や暮らしを守ることを災害対策の基本と捉えています。耐震・耐風性能に優れたモノコック構造をベースに制震装置「MGEO」や飛散防止効果のある防災ガラスなどで地震や台風にも備えるほか、浸水被害には外構計画を含めて対応する「MISAWA-防災エクステリア」などを提案します。

3rd SAFETY SOLUTIONS <支え>

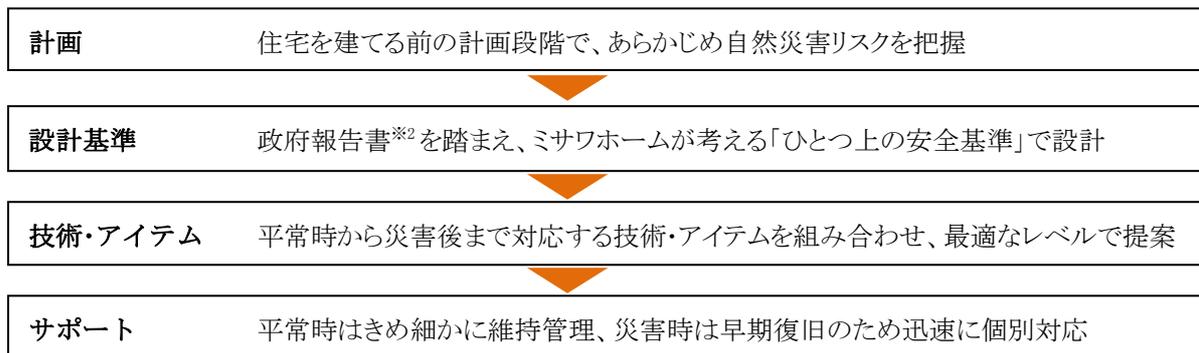
災害発生後、復旧まで自立した快適な暮らしを支える住まいを目指します。自立した生活に必要な電力は創エネと蓄エネで確保、飲料水や生活用水も複数の手段でストックします。その他、高断熱・高气密設計や、自然の力を有効活用する微気候デザインによって暑さ寒さをしのげる屋内環境を提案するほか、災害時のサポート体制の構築によって早期復旧をサポートします。

ミサワホームは「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」によって防災・減災意識の啓発を進めると同時に、防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」を他の商品ラインナップにも積極的に展開することで、オーナーの安全・安心に一層貢献していく考えです。

※1 地盤に起因する被害、地震に伴う津波や火災による被害は除く

■ 「MISAWA-LCP」の考え方

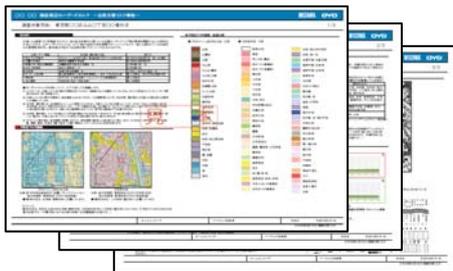
「MISAWA-LCP」は、住まいの計画段階から完成後のオーナーサポートまでを含めた包括的な防災・減災ソリューションとして提案します。



※2 内閣府／中央防災会議「首都直下地震の被害想定と対策について」（2013年12月発表）

(1) 計画

災害リスクを計る上で、建築地の状況や建築予定の建物の性能を把握することは重要です。「MISAWA-LCP」では、ミサワホーム独自の災害対策ガイドラインに基づいて、建設予定地の地盤状況を多角的に把握できる「ハザードカルテ」や、建物プランから事前に耐震シミュレーションできる「M-Labo」を活用したリスクコミュニケーションを実施します。



ハザードカルテ



M-Labo

(2) 「MISAWA-LCP」設計基準

躯体性能、プランニング、仕様のそれぞれに一つ上の安心基準を設定しました。

躯体性能基準	
■耐震等級3	震度7でも構造躯体が倒壊しない建物にする
■耐風等級2(風38地域)	最大瞬間風速60m/sでも倒壊しない建物にする
■耐積雪等級2(多雪100)	行政基準の1.2倍の雪の荷重に耐える建物にする
■感知警報装置設置等級	家のどこにいても火災に早く気付けるようにする
プランニング基準	
■備蓄収納(14日分)	飲食料・日用品7~14日分の備蓄スペースを確保する
■多方向避難	安全な複数経路、水平・垂直の避難経路を設ける
■災害時の居住性(冬季室温安定化)	避難生活の健康被害を軽減する冬季最低室温を確保する
■近隣コミュニケーション	日常から家族・近隣とコミュニケーションしやすい設計にする
■浸水対応	ゲリラ豪雨、床下・床上浸水に備える
仕様基準	
■熱源の確保	生活インフラやライフライン停止・停滞時の7日間+αに及ぶ自宅避難生活を想定した備え(停電・ガス遮断・断水・下水遮断・物流停滞)
■食料の確保(家族人数×14日分)	
■上水・中水の確保	

×

《平常時》～《災害時》対応設計	
“いつも”の快適性	“もしも”への備え

(3) 技術・アイテム

設計基準を満たす技術やアイテムを整理し、平常時の「備え」、災害時の「守り」、災害後の「支え」の3段階におけるソリューションを提案します。

平常時の「備え」

- ・ライフラインが停止しても1~2週間生活できるだけの備蓄ができる大収納空間「蔵」
- ・備蓄した非常食を定期的に使いながら新しいものをストックする「ローリングストック収納」
- ・複数の避難経路を確保するために、避難はしごや外部階段を設置する「多方向避難設計」
- ・一時避難スペースとしても利用可能な半屋外スペース「コミュニケーションポーチ」
- ・建設地の地盤データや建物の耐震シミュレーションによる災害リスク情報の提供



備蓄の「蔵」



多方向避難設計



コミュニケーションポーチ

災害時の「守り」

- ・耐震性に優れたモノコック構造に地震の揺れを軽減する制震装置「MGEO」をプラス
- ・浸水被害を最小限に抑えるための盛土・高基礎や「軽量止水板」、「ワンタッチ防水シート」
- ・飛散防止効果のある「防災ガラス」や1度に4ヶ所のシャッターを閉められる「一括操作スイッチ」で風害に対応



制震装置 MGEO



軽量止水板



ワンタッチ防水シート



防災ガラス

災害後の「支え」

- ・室内の暑さや寒さをしのげる高断熱・高気密設計や微気候デザイン
- ・停電時も電気が利用できる太陽光発電システムと蓄電池、非常時回路の連携
- ・断水時に必要な水を確保できる「飲料水貯留システム」や「雨水利用システム」
- ・束基礎が必要ないため、浸水後に必要な復旧工事がしやすい「ラチス梁」



飲料水貯留システム



雨水利用システム



ラチス梁

(4) サポート

ミサワホームでは住まいの価値を維持できるよう、構造体の初期保証を30年としています。それ以降も保証延長※3が可能のため、長く安心して暮らせます。また、万が一の事態にも的確に対応できるよう「365日・24時間体制」や台風や地震時に専門家が備える「災害時待機体制」などを整備しています。

※3 初期保証満了後は10年ごとの延長が可能です。なお、防水のみ初回が15年となります。

■ Web サイト「防災・減災住宅」を公開

「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」の完成に合わせて、ミサワホームの防災・減災の取り組みを紹介する専用 Web サイトを開設します。Web サイトでは日本の自然災害リスクを再確認した上で、過去の災害データや被災者の声を整理して住まいに必要な防災・減災ソリューションを紹介するとともに、「GENIUS 蔵のある家 防災・減災デザイン」の外観デザインやインテリア、プランの特長についても紹介しています。

さらに、防災をより身近に感じてもらえるよう、大人も子どもも楽しく学べる住まいの防災・減災学習ゲーム「いつもともしも」も公開します。防災に役立つ豆知識をクイズ形式で学べるコンテンツや、ウォークビューで探検しながら博士ペンギンが出すクイズに挑むコンテンツなどを用意しています。

専用 Web サイト「防災・減災住宅」：<http://www.misawa.co.jp/bousai/>



Web サイト「防災・減災住宅」



防災・減災学習ゲーム「いつもともしも」

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 中田義規 宮田智
TEL 03-3349-8088/FAX 03-5381-7838 E-mail:Satoshi_Miyata@home.misawa.co.jp

参考資料 建物タイプ 42-2RSW

備蓄の「蔵」

1.5階の床ハッチから出し入れする設計です。備蓄品を大量ストックできます。貴重品の収納にも適しています。

ウォークインクローゼット

宅配便の空きダンボールなどもまとめておける便利な収納です。玄関が綺麗に整理整頓できます。

エントランス

軒と袖壁に囲まれた玄関ポーチは、大雨や強風をしのげるため出入り時にも安心です。

ローリングストック収納

長期保存できる食品を目に付く場所にストックします。定期的に消費し常に新しい食品を常備します。

ホーム commons

親子で学びを楽しめるマルチ空間です。引き戸を開放すればリビングと一体での使用も可能です。

スタディコーナー

家族が自由に使えるスタディコーナーを設置。下階からの気配を感じながら利用できるスペースです。

洗面所・バスルーム

バルコニーにつながる開放的な空間。洗濯と物干し場を連続させることで家事効率にも配慮しています。

生活収納の「蔵」

コモンズリビングの家具を楽に出し入れ可能です。使う時期に限られる季節の道具もすっきりしまえます。

コモンズリビング

パーティなど多彩な交流や趣味を楽しむ空間。災害時は近隣の方々との助け合いの場としても役立ちます。

コミュニケーションポーチ

友人や近隣の方を招きやすい屋外空間です。災害時は避難スペースにもなります。

キッチン

ファミリーリビングやコモンズリビング、庭先まで見渡せる配置。外部階段とつながり家事も便利です。

ファミリーリビング

ダイニング兼用のプライベートスペースで、1階とも2.5階ともゆるやかにつながる設計です。

子ども部屋

吹き抜けを介して隣室やリビングとつながる設計です。プライバシーを確保しながらもゆるやかにつながります。

主室

大開口からの採光が心地よい空間。朝の準備がスムーズにできるウォークインクローゼットを併設しました。

バルコニー

主室と大開口でつながり、一体感を感じるインナーバルコニー。軒と袖壁に囲まれているため安心です。

ロフト収納

主室から利用できる収納スペース。備蓄や普段使用しないモノの収納場所として活躍します。

建築面積 82 m² / 延床面積 139 m² / 1階床面積 75 m² / 2階床面積 64 m²

蔵収納 33 m² / LOFT 収納 5 m²

※蔵収納、LOFT 収納は床面積に含まれません。